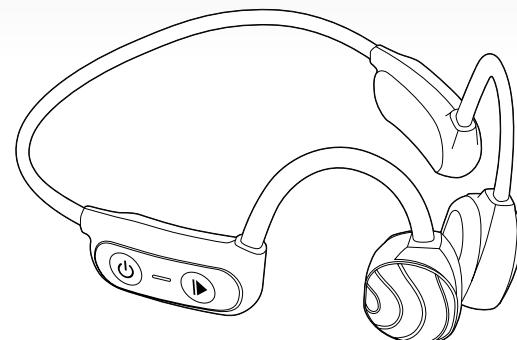


保証書付取扱説明書

骨伝導ワイヤレスイヤホン

型番：HP-BC200Z 品番：03-0786



このたびは、AudioComm® 骨伝導ワイヤレスイヤホンを
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
- (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
- (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換

(ア) 本書のご提示がない場合

(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)

- (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	骨伝導ワイヤレスイヤホン			★お買い上げ日： 年 月 日
型番	HP-BC200Z	品番	03-0786	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様 様	ありがな ★お名前	★ご住所	〒 一	電話 ()

修理メモ

★住所 店名 電話

販
売
店

印

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

*この保証書によつて保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

*お客様にて記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

◎HN 株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8

<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは、お客様相談室へ
●通話料無料
0120-963-006 048-992-2735
受付 毎日9:00～17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は、修理ご相談センターへ
電話 048-992-3970 平日9:00～17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

目次

免責事項	1	ペアリング(初期登録)のしかた	9~10
充電式電池について	1	音楽再生に関する操作	11
防水保護等級について	1	電話着信時の操作	11
安全上のご注意	2~4	マルチポイント機能について	12
Bluetoothについて	5~6	お手入れのしかた	13
各部の名称	7	故障かなと思ったら	13
装着方法	7	主な仕様	14
充電のしかた	8	保証書とアフターサービスについて	15
電源の入れかた・切りかた	9	保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

本機に内蔵している充電式電池について

絶対に交換したり、修理しないでください。爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムポリマー電池)は、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクル可能な資源です。廃棄については各自治体にご相談ください。

防水保護等級について

本製品はJIS C 0920:2003 (IEC 60529 : 2001)による水の浸入に対する保護等級「IPX6」(耐水形：水の強い噴流に対して保護する)仕様となります。以下の方にご注意ください。

- ダイビングや水泳などで使用したり、長時間水中につけないでください。
- 石けんの泡やオイルのついた手でさわらないでください(水分が浸入する可能性があります)。
- ドライヤーで乾かさないでください(密閉部が変形する可能性があります)。
- 表面が濡れたまま、充電しないでください(感電したり、ショートするおそれがあります)。
- 水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。
- 充電コードは防水仕様ではありません。水がかかるおそれのある場所で充電したり、保管しないでください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりかけたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「感電注意」が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。



- 充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない
- 本製品には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つかったら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がかだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

⚠ 警告

	<p>心臓ベースメーカーなどの医療機器を使っているときは装着部位から22cm以上離す ●電波により心臓ベースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。</p>
	<p>雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び充電コードに触れない ●感電するおそれがあります。</p>
	<p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。</p>
	<p>万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。</p>
	<p>分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。</p>
	<p>火の中に入れない ●本製品には充電式電池が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。</p> <p>自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない ●高温になると、危険を防止するため充電式電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。</p> <p>本機及び充電コードの上に重いものをのせない ●破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。</p> <p>充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。</p> <p>航空機内や医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。</p> <p>付属の充電コード以外では充電しない ●火災や感電、機器の故障の原因となります。</p> <p>運転中は本機及び携帯電話を使用しない。運転中に携帯電話の画面を注視しない ●必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。 ●歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。</p>

⚠ 注意

	<p>充電コードにシャワーや水を直接かけない。本製品を長時間水中につけない ●充電コードは防水仕様ではありません。水がかかる場所で充電しないでください。 ●本製品の防水保護等級は耐水形ですが、完全な防水仕様ではありません。ダイピングや水泳などで使用したり、長時間水中につけないでください。 ●ご使用前に充電用USBポートのカバーが閉まっていることを確認してください。</p>
	<p>小さなお子様の手の届かないところに保管する ●思わぬ事故を招くことがあります。</p>
	<p>長時間、大音量で聴き続けない ●聴力障害などの原因となることがあります。</p>
	<p>暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあるあたる場所に置かない ●破損・故障の原因となります。</p> <p>振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない ●落下しきがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。</p> <p>充電コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>キヤッショカードなどの磁気カードを近づけない ●内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。</p> <p>自動制御機器（自動ドアや火災報知器など）の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。</p> <p>シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。</p> <p>充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。</p> <p>日本国外では使用しない ●本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。</p> <p>●国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。</p> <p>かばんの中や衣類のポケットの中に本機を入れたままにしない ●かばんに力が加わったり、気づかずに衣類の上に重いものを載せたりして、変形や破損、故障の原因となることがあります。</p>

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、近距離（最大約10m以内）であれば、どこにいても無線通信により音楽を楽しむことができます。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.5.0

- 【対応プロファイル】
- ・HSP(通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
 - ・HFP(ハンズフリーで通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
 - ・A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
 - ・AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

●本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

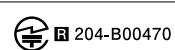
セキュリティについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。



使用周波数と注意事項

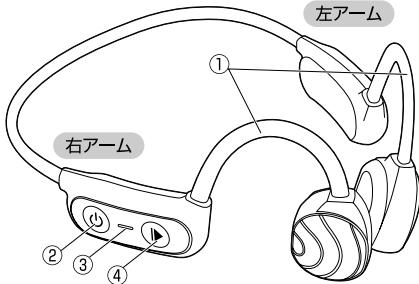
本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

- 1.ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3.そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

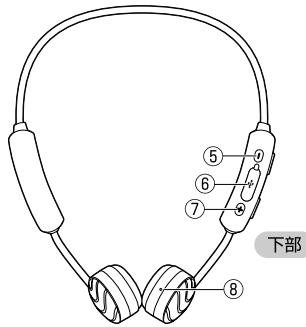
医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・病棟内では本機を使わない。
 - ・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方、自宅などで療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

各部の名称



- ①イヤーフック
②電源ボタン
③LEDランプ
④再生／一時停止ボタン
⑤音量／スキップボタン(－)
⑥充電用USBポート
⑦音量／スキップボタン(＋)
⑧通話マイク
⑨骨伝導イヤホン



装着方法



骨伝導イヤホンを耳の前方部分に当て、イヤーフックを耳にかけるようにして装着してください。

また、本製品には耳栓が付属しています。周囲の音が気になるときは、必要に応じてお使いください。

耳栓



指先でひねるようにして
先端を押しつぶす

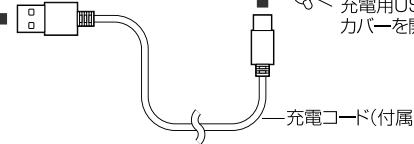
耳穴に入れて
しばらく待つ

充電のしかた

充電用USBポートのカバーを開け、充電用USBポートとパソコンのUSBポートなどを充電コード(付属)で接続します。充電が始まるときLEDランプが赤く点灯し、完了すると青く点灯した後、消灯します。



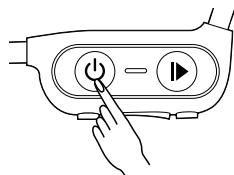
パソコンのUSBポート、
USB充電
AC電源アダプター、
充電器など



ご注意

- はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
- 必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
- パソコンを使って本機を充電するには、電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とパソコンは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
- 充電中にパソコンが省電力モードになると、正しく充電されませんのでご注意ください。
- 家庭用コンセントで充電する場合は、USB充電AC電源アダプター(別売)をご利用ください。
- 残量ゼロからフル充電までは約2時間かかります。十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度: 0°C~40°C、湿度: 20~80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、フル充電になっていなくても、充電が終了することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 電池残量が少なくなると、「電池残量 ロー」の音声が間隔をおいて数回流れます(LEDランプも赤く点滅します)。その後しばらくすると電源が切れますので、早めに充電してください。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

電源の入れかた・切りかた



電源ボタンを約3秒間長押しすると、
電源が入ります。

- 「電源オン」の音声が流れ、LEDランプが数回青く点滅した後、青と赤の交互点滅になります。
- 初めてBluetooth機能を使うときは、ペアリングが必要です。「ペアリング(初期登録)のしかた」を参照して操作してください。



電源が入っているときに、
電源ボタンを約3秒間長押しすると、
電源が切れます。

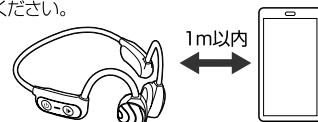
- 「電源オフ」の音声が流れ、LEDランプが数回赤く点滅した後、電源が切れます。

ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。

- はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。
- 相手側機器が他の機器とBluetooth接続しているときは、本機とのペアリングができないことがあります。事前に必ず他機との接続を解除してください。

- 1** 本機と登録したい相手側機器を手元に用意します。
●相手側機器は電源が入っている状態にしてください。



- 2** 本機の電源を入れます。
●「電源オン」の音声が流れ、LEDランプが数回青く点滅した後、青と赤の交互点滅になります。青と赤の交互点滅は、ペアリングモード(接続可能な相手側機器を探している状態)であることを示しています。



3

相手側機器で本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone : [設定] → [Bluetooth]

Android : [設定] → [その他の設定] → [Bluetooth]
[設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth 設定]

NTT docomo : [アプリ] → [設定] → [Bluetooth]

SoftBank : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth]

au : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth 設定]

Windows Mobile : [設定] → [接続] → [Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称「HP-BC200Z」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※機器によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機とのペアリングが完了すると…

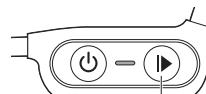
「接続しました」の音声が流れ、LEDランプが消灯します。相手側機器で再生などの操作をしてください。機器によっては、本機の再生／一時停止ボタンで再生を始められるものもあります。

ヒントとご注意

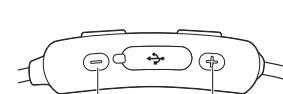
- 一度ペアリングすると、相手側機器のBluetooth機能が有効なときは、本機の電源を入れるだけで、自動接続されます。ただし、接続する機器によっては自動接続しない場合があります。そのときは、以下の手順や機器付属の取扱説明書などを参照し、その都度手動で接続してください。
- ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは：
 - ・本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してください。
 - ・相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。
 - ・上記を試しても正常に戻らない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

音楽再生に関する操作

接続したスマートフォンなどの音楽を聴くことができます。ただし、接続先の機器や再生アプリによっては、動作のしかたが異なっていたり、ボタンを操作しても機能しないことがあります。



再生／一時停止ボタン



音量／スキップボタン(－) 音量／スキップボタン(＋)

ボタン	短く押す	長押し
再生／一時停止ボタン	再生／一時停止	音声アシスタントを起動※1
音量／スキップボタン(＋)	音量を上げる※2	次の曲を再生
音量／スキップボタン(－)	音量を下げる※2	曲の先頭に戻って再生。直後にもう一度長押しすると、ひと前の曲を再生

※1 スマートフォン接続時(ただし、機種によっては起動しない場合があります)。

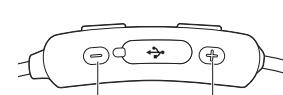
※2 スマートフォン接続時の音量調節は、スマートフォンの設定と同期する機種と、本機の音量のみを調節する機種があります。また、最大音量に達すると、電子音が鳴ります。

電話着信時の操作

スマートフォンとBluetooth接続中に電話着信があったときは、以下の操作が可能です。ただし、機器によっては本機で操作できない場合があります。そのときはスマートフォン側で操作してください。



再生／一時停止ボタン



音量／スキップボタン(－) 音量／スキップボタン(＋)

ボタン	短く押す	長押し
再生／一時停止ボタン	電話に出る＝通話を切る	着信拒否
音量／スキップボタン(＋)	音量を上げる※	――
音量／スキップボタン(－)	音量を下げる※	――

※スマートフォン接続時の音量調節は、スマートフォンの設定と同期する機種と、本機の音量のみを調節する機種があります。

マルチポイント機能について

マルチポイント機能を使うと、2台のスマートフォンとペアリングし、電話を待ち受けすることができます。P.9～10も参照し、以下の手順で設定してください。

- 1 1台目のスマートフォンとペアリングします。



- 2 ①でペアリングしたスマートフォンのBluetooth機能をオフにします。



- 3 2台目のスマートフォンと本機をペアリングします。



- 4 1台目のスマートフォンのBluetooth機能をオンにして、本機との接続を有効にします。



ヒントとご注意

- 着信(呼び出し)があった場合、再生／一時停止ボタンを押すと、電話に出ることができます。2台とも着信があり、呼び出し中の場合は、再生／一時停止ボタンを押すと、最初にかかってきたスマートフォンとつながります。
- 通話中にもう一方のスマートフォンにも着信があった場合：
 - ・再生／一時停止ボタンを2回続けて押すと、通話中のスマートフォンは保留になり、後からかかってきた電話に出ることができます。
 - ・もう一度再生／一時停止ボタンを2回続けて押すと、後からかかってきた電話を保留し、元の電話(最初にかかってきた電話)との通話を再開します。通話が終了すると2台とも待受状態になります。
- 機種によっては、再生／一時停止ボタンで通話を終了することができない場合があります。そのときは相手に通話を切ってもらうか、スマートフォン側で操作をしてください。
- マルチポイント機能が使えるのはスマートフォンのみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。
- 本機と接続した2台のスマートフォンを3者間通話などで同時に使うことはできません。
- この機能はすべてのBluetoothスマートフォンでの動作を保証するものではありません。

お手入れのしかた

※必ず電源を切ってから行なってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きしてください。
- シンナー やベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

故障かなと思ったら

充電できない

- ・本機とパソコンまたはUSB充電AC電源アダプターが正しく接続されていますか。
- ・付属品ではない充電コードを使用していませんか。
- ・USBハブなどを経由して接続していませんか。
- ・パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。

電源が入らない

- ・十分に充電しましたか。
- ・電源ボタンを長押ししましたか(短く押していませんか)。

ペアリングができない・Bluetooth接続ができない

- ・本機及びBluetooth機器の電源は入っていますか。
- ・Bluetooth機器は本機のプロファイルに対応していますか。
- ・Bluetooth機器との間に障害物があつたり、双方の距離が離れすぎていませんか。
- ・Bluetooth機器が他の機器と通信していませんか。
- ・Bluetooth機器がスリープ状態になつてませんか。
- ・Bluetooth機器内で本機の登録が削除されていますか。

音が出ない

- ・ペアリングをしましたか。
- ・本機またはBluetooth機器の音量が最小になつてませんか。

ノイズやエコー音がする

- ・Bluetooth機器との距離や音量を調整してみてください。
- ・無線通信を阻害する電磁波(電子レンジなど)や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

電話着信時に反応しない

- ・スマートフォンの設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になつてませんか。
- ・一部のスマートフォンでは、Bluetooth使用に際して切替操作が必要なものがあります。機器付属の取扱説明書などでご確認ください。

主な仕様

●全般

電源	DC5V(USB給電：USB Type-C入力端子)
内蔵電池	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 230mAh)
型式	骨伝導
イヤホンインピーダンス／感度	8Ω／84dB
再生周波数帯域	20Hz～20,000Hz
マイク指向特性／感度	全指向性／-42dB
充電時間	約2時間(残量ゼロからフル充電まで)
音楽再生可能時間	約5時間(80%音量)
通話可能時間	約6時間(80%音量)
待受可能時間	約220時間
許容動作温度	0～40°C
許容動作湿度	20～80%(結露なしにて)
防水性能	IPX6(耐水形)
外形寸法	幅100×高さ50×奥行130mm
質量	約34g
付属品	専用充電コード(約50cm)、耳栓(2個)、保証書付取扱説明書

●Bluetooth部

通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.0
対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP
出力	Class2
最大通信距離	見通し 約10m
使用周波数帯域	2.402～2.480GHz
変調方式	GFSK
対応コーデック	SBC、AAC

※充電時間、音楽再生可能時間、通話可能時間、待受可能時間、最大通信距離はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついており、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。